

三木市記者発表資料 (令和4年4月27日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
教育総務部 文化・スポーツ課	課長 金井善純 (内線 3550)	文化遺産係 (みき歴史資料館)	0794-82-5060

タイトル
阿弥陀三尊種子板碑（自然石）2点を三木市指定文化財に指定
内容
令和4年4月22日付で、文化財2点を三木市指定文化財に指定しました。
1 鍛冶屋 阿弥陀三尊種子板碑（自然石）
(1) 指定文化財の名称 鍛冶屋 阿弥陀三尊種子板碑（自然石） (かじや あみださんぞんしゅじいたび (しぜんせき))
(2) 指定文化財の種別・員数 有形文化財（考古資料）・1
(3) 時 代 嘉元2年（1304）
(4) 所 有 者 三木市
(5) 所 在 地 三木市吉川町鍛冶屋字山添
(6) 文化財の概要 嘉元2年（1304）に造立された供養塔である。凝灰岩製で、現高107cm、全高160cm、幅102cm、厚さ21cmを測る。地上部に阿弥陀三尊の種子（梵字）を陰刻する。地中部に「嘉元二 甲辰念」の陰刻がある。
(7) 指 定 理 由 三木市最古である鎌倉時代後期の板碑として貴重なものであるため。
2 有安 阿弥陀三尊種子板碑（自然石）
(1) 指定文化財の名称 有安 阿弥陀三尊種子板碑（自然石） (ありやす あみださんぞんしゅじいたび(しぜんせき))
(2) 指定文化財の種別・員数 有形文化財（考古資料）・1
(3) 時 代 暦応4年（1341）
(4) 所 有 者 個人
(5) 所 在 地 三木市吉川町有安字五反田
(6) 文化財の概要 暦応4年（1341）7月14日に造立された供養塔である。凝灰岩製で、全高211cm、幅74.5cm、厚さ26.5cmを測る。現状は、種子と銘文のある面を上側にして置かれている。上方に阿弥陀三尊の種子を陰刻する。その下方に「暦應三（四）年七月十四日」の陰刻がある。
(7) 指 定 理 由 三木市を代表する南北朝時代前期の板碑として貴重なものであるため。
セールスポイント
三木市と吉川町の合併後、初めて新たに指定された吉川町所在の市指定文化財となります。今後、地元の方々に末永く見守っていただけるよう、保存活用を進めていきます。